

船舶インシデント調査報告書

令和4年1月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航阻害
発生日時	令和3年6月2日 02時22分ごろ
発生場所	青森県深浦町久六島南西方沖 久六島灯台から真方位230° 8.2海里付近 (概位 北緯40° 26.7′ 東経139° 21.7′)
インシデントの概要	旅客フェリーあざれあは、南進中、右舷主機が故障し、運航が阻害された。
インシデント調査の経過	令和3年7月27日、主管調査官（仙台事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	旅客フェリー あざれあ、14,214トン 142901、新日本海フェリー株式会社 ディーゼル機関（2基）、4サイクル、出力11,000kW（／基）、回転数毎分590、16気筒、ボア380mm、使用燃料C重油、2016年7月機関製造
乗組員等に関する情報	船長、一級（航海） 機関長、一級（機関）
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	<p>本船は、船長及び機関長ほか17人が乗り組み、旅客76人を乗せ、トラック99台、乗用車10台を積載し、北海道小樽市小樽港を出港した。</p> <p>本船は、南進中、船尾側から順に番号が付された右舷主機B列4番シリンダの排気ガス温度の低温警報及び冷却水の漏えいが発生し、ブローバイ^{*1}の可能性があったので、右舷主機を停止して左舷主機のみで新潟港に入港した。</p> <p>機関長は、入港後、右舷主機B列4番シリンダの開放点検を行ったところ、吸気弁が脱落してピストンに損傷を、破損した吸気弁の破片によって過給機のブレード等に損傷を、及び冷却水の膨張タンクレベルが下がっているのを認めた。</p> <p>主機製造業者は、本船の右舷主機を点検したところ、吸気弁が折損後、激しく損傷し、残った吸気弁の破片から1次損傷である折損の原因を特定できず、また、破片に材質上の問題も認められず、さらに、</p>

^{*1} 「ブローバイ」とは、燃焼室で爆発した混合気がピストンとシリンダの隙間を通過してクランクケースに漏れてしまう現象をいう。

	直近の整備から1年9カ月経過しているため、整備自体に問題があったとも考えられず、吸気弁の折損の原因を特定できなかった。
分析	本船は、南進中、右舷主機B列4番シリンダの吸気弁が折損し、同弁の破片がピストン及び過給機に損傷を与え、右舷主機の運転ができなくなり、運航が阻害されたものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が南進中、右舷主機B列4番シリンダの吸気弁が折損し、同弁の破片がピストン及び過給機に損傷を与え、右舷主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検整備等において、カラーチェック等を行うなど、吸排気弁の状況に留意すること。